

令和6年度 諫早市立小長井中学校 自己評価書（中間評価）

校訓	「自律」「創造」「誠実」
学校教育目標	たくましい身体と思いやりの心を持ち、共に磨き合い、意欲に満ちた生徒を育成する
本年度の重点努力目標	<p>1 学力の向上</p> <p>2 思いやりの心の育成</p> <p>3 健康・安全・体力の増進</p> <p>4 生徒指導の充実</p> <p>5 特別活動の充実</p> <p>6 保護者・地域との連携と開かれた学校づくり</p>

【評価基準】 4：達成できた 3：おおむね達成できた 2：あまり達成できなかった 1：達成できなかった

評価項目 (評価指標)	具体的方策・手立て	評価	その根拠	考察・分析及び改善策
1 学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びの習慣化を図る。(学習規律の徹底、支持的風土の醸成、家庭学習の充実等)</li> <li>主体的・対話的で深い学びの実現に向け、魅力ある授業を推進する。</li> <li>校内研修を確実に実施する。</li> </ul>	2	<p>学びの習慣化において、学習規律の徹底のために「二準一黙」「目で話を聞く」の徹底を図り、1分前の黙想は定着しつつある。しかし、「支持的風土の醸成」については、まだ課題が残る。また、校内研修を基盤として、「表現力を高める」ために、読解力の向上や書く力の育成に取り組んだが、書く力の育成に関してはまだ課題が残る。学校評価アンケートにおいては、肯定的な意見が生徒は4項目、保護者は3項目が80%を超えていない。</p>	<p>早めの授業準備が課題であることから、粘り強く「二準一黙」に取り組んでいきたい。また、間違ってもよい学習環境づくりをとおして、「支持的風土の醸成」を目指したい。さらに、授業の中で、学び合える場面を増やしたり、学習形態の工夫したり、生徒のICT機器の積極的な活用を進めたりしていきたい。</p>
2 思いやりの心の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>心の教育、命の教育を充実する。(道徳科の充実、全ての教育活動を通じた道徳教育の実践)</li> <li>生徒会活動、学級活動等を活用した生徒の自治活動を推進させる。</li> </ul>	3	<p>幼いころからの生命尊重の考えを基に、道徳や、その他の学校生活の中で、心の教育と命の教育を充実させることができている。学校評価アンケートにおいても生徒は肯定的な意見がすべての3項目、保護者は2項目90%を超えている。生徒会活動への積極的な参画意識においては、学校評価アンケートから肯定的な意見が生徒は71%、保護者は62%と低く、課題である。</p>	<p>生徒は命が大切であることは十分に理解しているが、発言等に課題が見られる。道徳のみならず、各教科や全ての教育活動の中に、認め合いや助け合いの場面を意図的に設定していきたい。</p> <p>学校や学級に何が必要なのかを自分で考え、活動する姿勢の育成までに至っていない。積極的な生徒会活動を基に、各専門委員会及び学級での係活動の活性化を図ることで、自治活動の充実を目指したい。</p>
4 生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ、問題行動の早期発見と指導及び相談活動を充実する。</li> <li>一人一人の特性理解と特性に応じた適切な指導を充実する。</li> </ul>	3	<p>週1回の生徒指導部会や臨時生徒指導部会等での情報共有や共通実践に関する協議で迅速な対応につながっている。また、生徒の様子を全職員で観察し、適宜教育相談、相談員による相談、SCによる相談、保健室相談等を実施することができている。また、いじめ根絶に向けた取組については、校長講話、日頃の教師説話、道徳やその他の学習活動の中で、実施することができた。学校アンケートにおいても肯定的な意見が生徒は5項目、保護者は3項目80%を超えている。</p>	<p>いじめはいけないと強い認識は持っているものの、「これがいじめだ」という概念が薄かったが、校長講話や教師の説話により、真剣に考えるようになった。今後も全ての教育活動の中で、人権意識の高揚を図っていきたい。教師は、穏やかに生徒に接することができており、今後も、傾聴の姿勢で生徒と接していくことが必要である。一人一人の良さや可能性、課題等を見取り、適切な指導を更に推進していきたい。</p>
6 保護者、地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>信頼される職員集団の構築する。</li> <li>PTA活動を活性化する。</li> <li>地域・保護者との情報共有を実施する。</li> </ul>	3	<p>信頼される職員集団となるように、まずはわかる授業の実践を目指している。また、生徒の細かな変更も見逃さないように、少しでも生徒と一緒に過ごすように心がけた。家庭との連携も電話連絡等を密に行い、充実を図っている。PTA活動においては、積極的に関わっていただくよう組織を改め、年々活動の幅が広がっている。また、学校だよりや学級通信、安心メール等を通じて学校の様子や必要な情報を提供できている。今年度から、学校だよりを支所及び自治会の協力をいただき、町内を回覧させ、生徒の活躍や本校の取組を紹介することで、教育活動への理解を深めていく。</p>	<p>わかる授業の実践においては、学校全体としての授業改善を実施していく必要がある。悩みを持つ生徒に対しては、これまで通り、寄り添うことはもちろん、生徒や保護者に対し、相談体制を確実に周知させ、相談しやすい環境を定着させることが課題である。PTA活動についてコロナ禍以前の活発な活動までは至っていないが、年々徐々に活発化しており、役員を中心に活動していきたい。地域の方々と進めるふるさと学習においては、今後も連携を取り合いながら取組を更に充実させていきたい。通信等は、2学期も定期的な発行を目指したい。</p>

令和6年度学校評価アンケート集計結果

評価項目	対象	質問内容	肯定的回答率 (%)		
			計	2学期	1学期
学力の向上	1 わかる授業	生徒	先生は、わかる授業をしてくれる。		81
		保護者	先生は、分かる授業をしてくれる。		96
	2 めあてと振り返り	生徒	授業では、「めあて（課題）」が示され、学習の振り返り（確認・確かめ）が実践されている。		90
		保護者	授業では、「めあて（課題）」が示され、学習の振り返り（確認・確かめ）が実践されている。		95
	3 考えを深める	生徒	授業では、お互いの意見や考えを深める活動（班学習やペア学習）が実践されている。		73
		保護者	授業では、意見や考えを深めるための活動（班活動・ペア学習等）が行われている。		91
	4 学習態度	生徒	落ち着いて、自ら進んで授業を受けている。		77
		保護者	落ち着いて、自ら進んで授業を受けている。		65
	5 宿題と家庭学習	生徒	授業で出された課題（宿題）を家庭学習として、取り組めた。		73
		保護者	各教科の先生から計画的に課題（宿題）が示され、家庭学習の習慣化が図られている。		67
	6 ICTの活用	生徒	授業では、ICT機器が活用されている。		77
		保護者	授業では、ICT機器が活用されている。		73
思いやりの心の育成	7 命について	生徒	命あるものを大切にできた。		96
		保護者	お子様は、命あるものを大切にしている。		91
	8 認め合い・助け合い	生徒	誰に対しても、お互いの考えを認め、助け合えた。		93
		保護者	お子様は、友人を大切にしている。		95
	9 誰かのために	生徒	誰かのために、役立つことを一つでも努めた。		94
		保護者	お子様は、誰かのために役に立つことを実践している。		72
健康・安全・体力の推進	10 部活動	生徒	部活動を積極的に頑張った。（部活動未所属は答えない）		87
		保護者	学校は、部活動を積極的に進めている。（部活動未所属は答えない）		81
	11 健康な生活	生徒	日頃から健康な生活を送れるように食事や衛生面、虫歯予防に気を配っている。		90
		保護者	お子様は、日頃から健康な生活を送れるように食事や衛生面、虫歯予防に気を配っている。		77
	12 環境安全整備	生徒	学校は、安全で、環境が整っている。		90
		保護者	学校は、安全で、環境が整っている。		82
生徒指導の充実	13 正しく指導	生徒	先生は、間違っただけには正しく指導してくれる。		86
		保護者	学校は、子どもの間違っただけには正しく指導してくれる。		75
		生徒	先生は、良いことや努力した時には褒めてくれる。		89
		保護者	学校は、子どもを褒めるべき時は褒めてくれる。		86
	14 正しい生活	生徒	挨拶や身なり、言葉遣いなどをきちんとしている。		82
		保護者	お子様は、挨拶や身なり、言葉遣いなどをきちんとしている。		77
	15 好ましい人間関係	生徒	学校や学級で、好ましい人間関係をつくっている。		85
		保護者	お子様は、学校や学級で、好ましい人間関係をつくっている。		86
	16 いじめのない学校	生徒	いじめのない学校・学級を目指し、努力できた。		85
		保護者	学校は、いじめのない学校・学級づくりを目指して取り組んでいる。		78
	17 教育相談	生徒	悩みや相談ごとがあるとき、先生や心の相談員、スクールカウンセラー等に話しやすい。		63
		保護者	学校は、子供の悩みや相談に応じてくれる。（先生や心の相談員、スクールカウンセラー等）		85
特別活動の充実	18 キャリア教育	生徒	自分の個性を理解し、将来の進路についてしっかり考えた。		84
		保護者	ご家庭で、進路のことや将来の職業等について話し合う（会話する）機会があった。		86
	19 進んで活動	生徒	学級の係活動や学校行事などに積極的に取り組んでいる。		85
		保護者	お子様は、学級の係活動や学校行事などに積極的に取り組んでいる。		91
		生徒	学校スローガン「3つの開花」を意識し、学校生活を送っている。		71
		保護者	お子様は、学校スローガン「3つの開花」を意識し、学校生活を送っている。		63
保護者・地域との連携	20 地域との連携	生徒	総合的な学習の時間などの授業や学校行事等で、地域の方からの話を聞いたり、指導していただいたりする機会がある。		78
		保護者	学校は、地域の方や外部の方を授業や行事等の講師として活用している。		88
	21 教育方針への理解 家庭地域への連絡	生徒	学校から出された文書や学校だより、学級通信等を確実に保護者に渡している。		81
		保護者	学校は、学校だよりや学級通信、安心メール、ホームページ、各種会合等を活用し、学校の様子や必要な情報を知らせている。		93